

今一緒に考えよう「認知症」

講演会のお知らせ

地域包括支援センター
☎973-5112

認知症と高齢社会

日本は世界がこれまで経験したことのない「超高齢社会」を迎えています。

長生きできることは喜ばしいことですが、超高齢社会の重要な課題のひとつで、老後の最大の不安が「認知症」です。

「認知症」は、だれにでも起こりうる脳の病気によるもので、85歳以上になると4人のうち1人に認知症の症状があるといわれています。その数は今後20年で倍増するとも予想されています。

だれもが安心して暮らせるまちに

認知症になると、いろいろな原因で脳の働きが悪くなってさまざまな障害がおこり、生活するうえで支障が出てきて、それまでできていたことができなくなったりします。その

ため、本人は大きな苦しみと悲しみを抱くことになり、サポートする家族にも多大な負担がかかります。

しかし、みんなが認知症について正しい知識をもち、助けあうことができれば、認知症の人とその家族も穏やかに暮らすことができます。

私が認知症になっても安心して暮らせるまちとは？

市では、認知症高齢者が、住み慣れた地域で尊厳を保ちながら安心して暮らし続けることができるまちづくりをめざし、認知症に対する市民の理解を深め、地域における支援の輪を広げていくため、講演会を開催します。

また、認知症に関する正しい知識を持ち、地域や職域で認知症の人や家族を支援する「認知症サポーター養成講座」も兼ねた内容になりますので、興味のある方はぜひご参加ください。



【講演会テーマ】

認知症になっても安心して暮らせる地域を育む大切さ
～一人ひとりのハートに
オレンジリングの灯を！～

【とき】平成22年1月21日(木)
午後2時～4時

【ところ】市民芸術劇場
燈ホール

【講師】永島 徹氏
ながしま とほる
栃木県。NPO法人「風の詩」副理事長。日本認知症ケア学会評議委員

【入場料】無料

【申込み期間】
12月21日(月)～

平成22年1月15日(金)
※ただし、定員に達しだい締め切ります。

【申込み先】

うるま市地域包括支援センター
☎973-5112

若年性認知症の電話無料相談

若年性認知症コールセンターが開設されました。

■若年性認知症とは？

認知症は高齢者の病気。そんな誤解をしている人が多い。しかし、実は働き盛りの年代でも認知症になることがあります。それが「若年性認知症」。65歳未満で発症する認知症の総称です。認知症は高齢者だけの病気ではありません。

■もしも家族がかかってしまったら

もしも、家計を支える働き盛りの家族が認知症になってしまったら…。

経済的な問題や心理的ストレスはとても大きいものです。自分たちだけで抱え込まず、いざというときは電話相談を。

■次のフリーコール(無料)まで、お気軽にご相談ください。

☎0800-100-2707

・月～土曜日(年末年始・祝日除く)

・午前10時～午後3時

※専門教育を受けた相談員が対応します。

※個人情報厳守します。

■運営主体

社会福祉法人仁至会 認知症介護研究・研修大府センター(愛知県)